

# FCENA-SUCCES 機能比較一覧

FCENA	機能(FCENAのみにあり)	SUCCES	(SUCCESSのみにあり)
BASEPLAN 250,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■建築基礎構造設計指針(平成5年11月)</li> <li>■鉄道構造物等設計標準・同解説／基礎構造物・抗圧構造物(平成9年3月)</li> <li>■港湾の施設の技術上の基準(平成11年4月)</li> <li>■港湾の施設の技術上の基準(平成19年4月)</li> <li>■設計要領第二集(橋梁・擁壁・カルバート)(平成18年4月)</li> </ul> <p>・直接基礎</p>	杭基礎の震度法照査(H14)  80,000	
ELNOAR 300,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■建設省河川局治水課 平成6年2月『河道内の樹木の伐採・植樹のためのガイドライン(案)』</li> </ul> <p>・平均流速公式のレベル3</p>	等流計算Ⅱ 100,000 不等流計算Ⅱ 250,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社団法人農業土木学会 平成13年2月『土地改良事業計画設計基準・設計「水路工」基準書・技術書』</li> <li>■社団法人全国治水砂防協会 昭和61年5月『改訂版 砂防設計公式集』</li> </ul> <p>・土砂混入率を考慮した計算 ・湾曲部の水面形を考慮した計算 ・余裕高の計算</p>
RAINPAL 慣用法 300,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■鉄道総研基準(平成13年)</li> <li>■日本建築学会(昭和63年)</li> </ul> <p>・背面地盤の沈下量計算(近接程度の判定) ・土留壁材料(鋼管矢板) ・計算条件(支持力から定まる根入れ長の計算、パイピングの検討) ・上載荷重(部分分布荷重、列車荷重、重機荷重、覆工荷重) ・支保工計算(アンカーの内的安定計算、タイロッド)</p>	土留慣用計算  150,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■建設省中国地方建設局「土木工事設計マニュアル」(昭和62年10月)</li> </ul> <p>・水圧計算(動水勾配を考慮、任意形水圧) ・施工ステップ(プレロード)</p>
RAINPAL 弾塑性解析 300,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■帝都高速度交通営団 土留工解析指針(案)</li> <li>■日本建築学会 山留め設計施工指針</li> </ul> <p>・解析手法「荷重増分法」 ・解析モデル「森重の方法」 ・切梁の先行変位入力 ・タイロッド ・逆巻き工法 ・水中掘削 ・安定度判定グラフ ・脆性判定による根入れ長自動延長 ・杭の頭出し長さの直接指定 ・ソイルセメントの耐力検討 ・鋼管矢板</p>	土留弾塑性解析(土木) 400,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■建設省土木研究所「土木研究所資料 掘削土留め工設計指針(案)」(昭和57年3月)</li> <li>■日本下水道事業団「設計基準(案)土木設計編」(平成4年4月)</li> <li>■社団法人日本鉄道技術協会「深い掘削土留工設計法」</li> <li>■首都高速道路厚生会「仮設構造物設計基準」(平成2年10月)</li> <li>■鉄道総合技術研究所「鉄道構造物等設計標準・同解説 開削トンネル」(平成13年3月)</li> </ul> <p>・弾塑性境界を“単一層”とするか、“多層”とするか指定可能 ・弾塑性境界の収束精度、全塑性時の強制終了を指定可能 ・弾塑性解析・弾性解析を選択可能 ・地盤の塑性化を考慮しない弾性体としての扱いを土層毎に指定可能 ・掘削底面以深の弾性域の有効主働側圧を無視した計算が可能</p>
RASINC RASINIC-1 RASINIC-2 250,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■土木構造物標準設計第2巻「擁壁類」(平成12年9月)(全日本建設技術協会)</li> <li>■建築基礎構造設計指針(平成5年11月)(日本建築学会)</li> <li>■港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成11年4月)(日本港湾協会)</li> <li>■港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成19年4月)(日本港湾協会)</li> <li>■鉄道構造物等設計標準・同解説(平成9年3月)基礎構造物・抗土圧構造物(鉄道総合技術研究所)</li> <li>■設計要領第二集(橋梁・擁壁・カルバート)平成9年11月</li> </ul> <p>・使用鉄筋量算定時の自動算定機能</p>	擁壁の設計計算  200,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■道路橋示方書・同解説(Ⅳ下部構造編、Ⅴ耐震設計編、Ⅲコンクリート橋編)平成8年3月</li> <li>■道路橋示方書・同解説(Ⅳ下部構造編、Ⅴ耐震設計編、Ⅲコンクリート橋編)平成6年3月</li> </ul> <p>・地覆・天端増しに対応 ・軽量盛土工法(EPS工法とFCB工法)による土圧計算 ・杭本体の断面力計算 ・杭とフーチング結合部の照査 ・フーチングの剛性評価</p>